

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和4年3月23日（水） 17：45～18：15

3. 場 所：原子力規制庁8階 小野審議官室

4. 出席者

原子力規制庁

小野審議官、来住補佐

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

伊藤副理事長

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、安全・核セキュリティ統括部の組織改正及び今後の許認可審査案件スケジュールについて説明があった。

原子力規制庁からは以下の点を指摘した。

- ・新たに設置される安全・核セキュリティ統括本部（以下「安核本部」という。）に求められる役割を踏まえ、安核本部が機構全体の安全管理及び核セキュリティ管理機能の向上を牽引するとともに、これに必要なコミュニケーションを適切に図っていくこと。
- ・高速実験炉「常陽」の審査では、令和3年度第68回原子力規制委員会（令和4年2月24日）における議論の結果、BDDBA対策の有効性評価に用いている解析コードの適用性について、十分な不確かさが考慮されていることを確認するための要素評価を実施することとなった。今後も、原子力規制委員会の方針を踏まえ、集中的に審査を進めたいと考えており、審査を合理的に進めるための必要な体制を維持いただきたい。

これらに対し、機構から、了解した旨回答があった。

6. 配布資料

なし